

会 議 録

会議名称	令和２年度 第２回座間市子ども・子育て会議		
日時	令和３年３月２３日（火） ９時３０分～１０時４５分		
場所	座間市役所５階 ５－１会議室		
出席委員	飯田委員、◎大下委員、小澤委員、加藤委員、坂本委員、高松委員、田邊委員、長本委員、西川委員、○飛田委員、松本委員、三原委員		
事務局	子ども未来部長、子ども政策課、子ども育成課、保育課、青少年課、健康づくり課		
会議の公開可否	■公開 □一部公開 □非公開	傍聴者数	１人
次第	１ 開会 ２ 議題 （１） 令和３年度特定教育・保育施設等の利用定員について （２） 座間市子ども・子育て支援事業計画 総括評価等報告書について （３） 答申書について （４） その他 ３ 閉会		
配布資料	資料１ 令和３年度特定教育・保育施設等の利用定員 資料２ 座間市子ども・子育て支援事業計画 総括評価等報告書（案） 資料３ 答申書（案） 資料４ 質問・意見一覧 資料５ 保育園の確保方策について		
１ 「開会」 子ども未来部長より挨拶をした。 ２ 「議題」 資料を確認後、座間市子ども・子育て会議規則第５条第１項により大下会長が議事を進行 議題（１） 令和３年度特定教育・保育施設等の利用定員について ○事務局（子ども政策課） ※資料１「令和３年度特定教育・保育施設等の利用定員」を説明した。 議題（２） 座間市子ども・子育て支援事業計画 総括評価等報告書について ○事務局（子ども政策課） ※資料２「座間市子ども・子育て支援事業計画 総括評価等報告書（案）」及び資料４「質問・意見一覧」を説明した。 ○委員			

9 ページ、10 ページの一時預かり事業（保育園）と一時預かり事業（幼稚園）で令和元年度だけ予算と決算の数値の乖離が大幅にあるのはなぜか。

○事務局（保育課）

一時預かり事業（幼稚園）については、令和元年度に「幼稚園Ⅱ型」の予算を盛り込んだため、平成30年度と比較して乖離した。

一時預かり事業（保育園）については、施設が年々整備をしていくなかで実施数が増えていることと、利用人数によって補助額が確定するものなので、当初は多くの人が利用すると見込み予算を確保したが、決算額はそこまで利用者数が伸びなかったためである。

○委員

12 ページの病児保育について、平成29年度は109人と年々伸びていたが、平成30年度は66人、令和元年度は44人と利用者が減っている。どうして減少しているのか。

○事務局（保育課）

年度によって病気の流行があり、その関係で実績値が変わっている。

○委員

病児保育が実施されているのを知らない方が増えていると思う。また、1施設しかないので預けづら이라는のが根強く残っているのではないかな。

○事務局（保育課）

病児保育については、現在市内で2施設ある。病後児は広野台保育園、すずらん、病児は企業主導型のにじのはし保育園で実施している。当初より民営化の中で病児保育を検討していくという形になっている。

ただし、民営化の大きな目的は耐震化と定員増であり、病児保育は赤字事業なので、病児保育を実施項目に指定したために、業者が集まらないというのは本来の目的が達成できないので、目的の達成に支障がない範囲で取組を進めていきたい。

○委員

以前病院に聞いたことがあるが、確かに赤字になるとおっしゃっていた。その赤字部分について市が補填する考えはないのか。

○事務局（保育課）

病児保育については、近隣市町村との意見交換会で、費用負担が地域によってばらつきがあるのは問題なので、市単独でなく県や国レベルで一括して補助金を策定してもらいたいという意見が出ている。待機児童の解消や休日保育の実施など保育事業のバランスを考えながら予算要求をしていきたい。

○委員

病児保育について、施設を作るのではなく、登録制で看護師を派遣する仕組みを作ってはどうか。

看護師資格を持っている人を有効活用できるし、施設を作る必要がない。

○事務局（保育課）

病児保育は施設で考えているが、ご意見として承る。

○委員

病児保育について対象が小学校3年生なのはどういう決まりなのか。4年生だと打ち切られてしまうのはどのような違いなのか。

○事務局（保育課）

要綱の中で定められているはずだが、再度確認する。

議題（3）答申書について

○事務局（子ども政策課）

※資料3の答申書（案）に先ほどの議題で取り上げた資料2の総括評価等報告書（案）を付して、市長に対する答申としてよいか伺った。

○会長

資料3答申書（案）、及び添付資料2総括評価等報告書（案）をもって、令和2年度の座間市子ども・子育て会議の答申とすることに異議があるか。

○委員

異議なし。

○会長

異議なしということで承認とする。

議題（4）その他

○事務局（保育課）

資料5「保育園の確保方策について」を説明した。

○委員

東原保育園は園庭に仮設をまずは設けて建て替えるのか。

○事務局（保育課）

園庭部分に本設を建てて、引っ越しをして前の建物を取り壊す流れである。

○委員

フェリーチェ座間Ⅰ園の連携施設はすでにあるのか。

○事務局（保育課）

公立保育園の近くを考えている。

保育園整備計画実施後に残る４園施設、栗原保育園、相武台保育園、小松原保育園、相模が丘西保育園のうち、相模が丘西保育園は既に連携施設になっているので、それ以外の保育園で考えている。

○委員

フェリーチェ座間Ⅰ園に関しては、やなせ保育園や座間保育園に近いが、近いからと言って連携になるわけではないということか。

○事務局（保育課）

座間駅付近に関してはだいぶ整備が進んできているので、座間駅にとらわれず、他の地区で待機児童を解消したい。施設側としても、将来にわたって園児が見込めるところを希望しているので、保育課としても分析して公立保育園の近くで整備をしていきたい。

○委員

相模が丘西保育園と相模が丘東保育園が統合されると聞いている。西保育園は定員約１２０名。東保育園は６０名。統合すると定員１８０名だがその規模は確保できるのか。

○事務局（保育課）

統合する前の条件として定員１２０名で吸収できる状況になった場合、すなわち相模が丘地区で待機児童が減ってきている場合については、定員１２０名で統合する。

待機児童が発生している場合については、しばらくは継続で考えている。

○会長

公募で委員になられた方、子育てをしながら感じることや子育て支援に対する意見はあるか。

○委員

一時保育を利用しているが、園によって対応が異なり利用しにくい。

○委員

子ども・子育て支援事業計画書を見ると１０年前とだいぶ変わってきていることがわかり、座間市も子育てをしやすい環境になったと思う。

また、子どもが通っている小学校で、日常的に話を聞いて思うのが、外国籍の子どもが増えてきている。給食の問題や宗教的な問題など、私たちがいつも生活している様式とは違うところが出てきて、外国籍のお母さんたちがどうやって情報を得ているのかが疑問である。

多言語対応や宗教的な問題を小学校がどのように取り組んでいくのかを検討してもらえると、いろんな方が楽しく学校生活や子育てに取り組めると思うので、市でもそういう部分に取り組んでほしい。

○会長

そのほかに意見、質問はあるか。

なければ、本日予定していた議事は終了とする。

3 「閉会」